

# 廿日市中学校授業モデル(基本形)

ユニバーサルデザインの視点 「焦点化」「視覚化」「共有化」

## 学習へ向かう姿勢づくり

- ロッカーの整理
- 廿中三力条の確認
- 話す姿勢・聞く姿勢
- 学習係による行動目標の発表

## 授業の展開

※ ○○ は、効果的なICT活用にも挑戦！

- 「～できる」型の語尾でめあてを示す
- 本日の学習の流れの提示
- 思考を促す課題設定をする



## 言語活動の充実

分かりやすく表現する  
結論先行型  
 根拠+理由付け = 結論  
 「私は○○だと思います。○○という事実があり、△なので、○○と考えます。」

大きい情報から説明  
 全体から部分へ 概要から詳細へ

つながり発言をする  
 「私も○○さんの意見と同じで…」  
 「△さんの意見に似ていて…」  
 「□さんの意見に付け加えます…」

YES BUT法(反論の型)  
 「確かに○○さんの意見は◎です。でも私の意見は△です。理由は…」  
 「○○さんの意見は△と言う点で大変理解できます。しかし□とも考えられると思います。」

※ICTを活用した表現活動にも挑戦！

見通し

自分で考える

交流する

深める

まとめる

- 思考のスイッチ★を押す  
 ★友達と比べて/自分の体験と比べて/前回学んだことと比べて  
 ★多くの視点で/他の見方は？  
 ★具体例を挙げてみよう  
 ★まとめるとどうなるの？  
 ★特に重要なのは？  
 ○思考ツールの活用

- 個に応じた指導(個別最適な学び)  
 ○学習の手引き・ヒントカードの活用  
 ○ワークシートの工夫  
 ○発展コースやじっくりコース等、単元内で生徒が選択できる工夫 など

- ペア・グループの活用(協働的な学び)  
 ○ペア・グループでの学習活動  
 ○他との情報共有・意見交換の場を設定  
 ○授業支援ツールの活用  
 ○役割分担やジクソー型の導入 など

- 思考を深める切り返し  
 ★その根拠は事実かな？  
 ★その理由は誰もが納得いくものかな？  
 ★根拠から結論まで筋が通ってるかな？  
 ○思考を整理させる  
 ○グループの意見を発展させる  
 ○学びの深まりを創り出す

- 全体で本時に学習した学びを振り返る(必ずしも授業最後に提示しなくてよい)
- 自己評価、教員による評価

